

2. 営業活動等

(1) 総ざらいの取組み（令和4年7月末現在の状況）

令和4年5月31日に国のポリ塩化ビフェニル廃棄物処理基本計画が変更され、事業終了準備期間となる令和4年度以降も、北九州事業エリアで事業終了後に新たに見つかったトランス、コンデンサ等（以下「継続保管物」という。）の一部を含めて処理することとなりました。

令和4年3月31日の計画的処理完了期限までに登録を完了した案件は、全て6月末までに契約・搬入・処理を完了しました。

前回まで「処理手続が進まない保管者」として報告してきた案件も全て搬入され処理を終えています。

又、代執行案件は7件で、いずれも保管事業者が特定できない案件でした。

(2) 計画的処理完了期限以降の登録状況について

令和4年4月1日以降に発見された廃棄物を登録しています。

7月末までの登録保管者は26者、トランスは0台、コンデンサは32台です。

これまでのところ、「処理手続が進まない保管者」はいません。

登録案件については、速やかに契約、搬入、処理を進めてまいります。

(3) 北九州事業エリアの継続保管物の状況について(表-5)

令和4年7月末現在、北九州事業エリアの継続保管物で大阪PCB処理事業所への登録が完了した案件はありません。現在、各行政に届出された廃棄物について、廃棄物の現物確認、保管者の処理意思の確認に努めています。今後、処理意思を確認できた保管者様との契約を順次進めて、今年10月から12月にかけての集中搬入期間を設定の上、搬入、処理を進めてまいります。

7月末までに北九州事業エリアの継続保管物のうち大阪PCB処理事業所での処理として整理されている保管者は108者（トランス1台、コンデンサ154台、廃PCB油20本）です。

表-5 北九州事業エリアの継続保管物 行政への届出状況（保管場所 県別）

	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
保管者数(者)	47	19	8	8	12	7	6	1	108
トランス台数(台)	1	0	0	0	0	0	0	0	1
コンデンサ台数(台)	75	22	13	9	10	10	13	2	154
廃PCB油数(本)	8	2	3	2	2	1	2	0	20

(4) 払出実績(平成18年10月～令和4年7月末)

1) 有価物・廃棄物

有価物・廃棄物の払出実績は(表-6)のとおりであり、これらを(表-7)に示す方法で再資源化しています。

単位(t)

区分	年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4 7月末
		有価物払出実績	100	593	663	849	724	810	761	666	485	433	429	397	441	272	267	253
内訳	劣化溶媒*1	53	372	375	479	386	433	425	318	118	115	131	134	175	133	190	192	87
	鉄	39	179	230	293	261	294	262	262	293	256	236	214	223	121	68	54	10
	銅	4	17	30	40	37	42	36	45	38	32	34	22	27	11	2	2	0
	その他*2	4	25	28	37	40	41	38	41	36	30	28	27	16	7	7	5	4
廃棄物払出実績	100	638	903	1,046	908	1,252	1,258	1,160	867	828	713	636	493	455	520	493	191	
内訳	塩酸	79	419	550	671	597	713	748	724	522	502	442	408	301	283	334	321	135
	ビフェニル	15	133	147	190	157	208	197	221	164	143	112	106	81	68	54	46	13
	トリクロロベンゼン	0	30	50	66	60	61	56	59	44	55	43	33	25	0	7	4	0
	碍子・ガラスくず	3	16	18	20	17	21	22	19	16	12	11	9	5	8	6	6	0
	活性炭汚泥	0	0	30	20	10	20	22	27	32	26	31	19	27	30	30	18	7
	その他*3	3	40	108	79	67	229	213	110	89	90	74	61	54	66	89	98	36

*1 劣化溶媒：脱塩素化分解の反応溶媒として使用した鉱油

*2 その他：アルミ(H30.6より廃棄物)、ステンレス等

*3 その他：木酢液、廃アルカリ水、分析廃水、炭化物、廃プラスチック等

表-6 年度別の払出実績

2) 廃棄物等の再資源化方法

表-7 払出している廃棄物等の再資源化方法

廃棄物等	再資源化方法
劣化溶媒	燃料
塩酸	飛灰、スラッジ、汚染土壌の金属抽出剤として利用
	汚泥処理(中和)剤として利用
ビフェニル	他の廃油等と混合の後、セメントメーカーで燃料として利用
	他の廃油等と混合の後、助燃油として利用
トリクロロベンゼン	高炉用ペレット製造又はセメント原料製造工程の原燃料
碍子・ガラスくず	再生砕石等として利用
活性炭汚泥	路盤材として利用

(5) 運転廃棄物

令和4年7月末までの運転廃棄物の処理実績は(表-8)のとおりです。

自所処理している廃活性炭は、VTR-C号機に対策工事を行い令和3年11月からこれまでのVTR-D号機に替えてVTR-C号機で処理を行っています。

表-8 運転廃棄物処理実績

年度	種別	無害化認定施設										自所処理							他事業所 (500ppm超)			
		廃活性炭	保護具・シート類	ウエス・キムタオル類	コンクリートくず等	タール・木酢	廃アルカリ	廃油	廃油(炭TCB)	金属くず	ガラスくず	合計	廃アルカリ	廃活性炭	タール・木酢・廃油	配管材	コンクリートくず等	合計	VTRバッチ数 実績		東京	北九州
																			運搬 廃棄物	全バッチ		
H24年度	本数	0	0	0	0	0	20	0	0	0	20	0	12	51	101	0	164	42	556	0	0	
	重量(t)						4.0				4.0		1.8	10.2	15.2		27.2					
	PCB処理量(kg)						2				2		360	71	<1		432					
H25年度	本数	0	0	0	0	0	169	0	0	0	169	0	34	34	128	0	196	45	564	0	0	
	重量(t)						33.8				33.8		5.1	6.8	19.2		31.1					
	PCB処理量(kg)						33				33		1,020	48	<1		1,069					
H26年度	本数	1,007	0	0	0	0	199	129	0	0	1,335	25	4	58	137	0	224	53	462	0	0	
	重量(t)	100.7					39.8	25.8			166.3	5.0	0.6	11.6	20.6		37.8					
	PCB処理量(kg)	5					18	27			50	35	120	81	1		237					
H27年度	本数	288	624	0	0	51	177	48	0	0	1,188	91	49	60	116	0	316	85	456	64	32	
	重量(t)	28.8	35.6			10.2	35.4	9.6			119.6	18.2	7.4	12.0	17.4		55.0			9.6	1.8	
	PCB処理量(kg)	3	6			7	25	10			52	127	1,470	84	<1		1,682			1,920	28	
H28年度	本数	192	720	0	0	0	192	48	0	0	1,152	84	76	136	61	0	357	92	445	0	276	
	重量(t)	19.2	41.0			0.0	38.4	9.6			108.2	16.8	11.5	27.2	9.3		64.8			0.0	16.0	
	PCB処理量(kg)	2	8			0	27	10	0		47	118	2,300	190	<1		2,608			0	256	
H29年度	本数	240	660	0	56	82	205	32	28	0	1,303	64	46	107	100	0	317	85	426	208	240	
	重量(t)	24.0	37.6		8.4	16.4	41.0	6.4	5.7		139.6	12.8	6.9	21.4	15.0		56.1			31.2	13.2	
	PCB処理量(kg)	3	7		<1	12	29	7	<1		57	90	1,380	150	<1		1,620			6,240	211	
H30年度	本数	140	422	352	0	17	352	44	112	0	1,439	82	88	116	79	0	365	100	448	310	208	
	重量(t)	14.0	24.1	19.4		3.4	70.4	8.8	23.0		163.0	16.4	13.2	23.2	11.9		64.7			46.5	11.4	
	PCB処理量(kg)	2	4	26		2	50	9	<1		94	115	2,640	162	<1		2,918			9,300	183	
R1年度	本数	220	420	30	0	0	282	108	0	46	1,106	108	111	180	56	0	455	130	379	332	320	
	重量(t)	22.0	23.9	1.7			56.4	21.6		1.6	127.2	21.6	16.7	36.0	8.4		82.7			49.8	17.6	
	PCB処理量(kg)	2	4	2			40	22		<1	71	151	3,330	252	<1		3,734			9,960	282	
R2年度	本数	119	300	60	0	0	152	111	7	1	750	271	147	281	33	0	732	183	353	176	144	
	重量(t)	11.9	17.1	3.3			30.4	22.2	1.4	0.0	86.4	18.2	22.1	56.2	5.0		101.4			26.4	7.9	
	PCB処理量(kg)	1	3	4			21	23	<1	<1	53	127	4,410	393	<1		4,931			5,280	127	
R3年度	本数	272	395	60	9	0	147	93	0	32	92	1,100	370	65	236	58	0	729	194	340	167	176
	重量(t)	27.2	22.5	3.3	1.4		29.4	18.6		1.1	5.2	108.7	24.8	9.8	47.2	8.7		90.4			25.1	9.7
	PCB処理量(kg)	3	4	4	<1		21	19		<1	<1	52	174	1,950	330	<1		2,454			5,010	155
R4年4月	本数	0	9	84	0	0	0	0	0	27	0	120	41	16	55	5	0	117	32	34	0	0
	重量(t)		0.5	4.6								6.1	2.7	2.4	11.0	0.8		16.9				
	PCB処理量(kg)		<1	6								6	19	480	77	<1		576				
5月	本数	0	60	0	0	0	33	27	0	0	0	120	41	24	43	6	0	114	24	33	0	0
	重量(t)		3.4				6.6	5.4				15.4	2.7	3.6	8.6	0.9		15.8				
	PCB処理量(kg)		<1				5	6				11	19	720	60	<1		799				
6月	本数	24	63	11	0	0	0	0	0	0	98	56	24	35	4	0	119	26	39	16	0	
	重量(t)	2.4	3.6	0.6							6.6	3.8	3.6	7.0	0.6		15.0			2.4		
	PCB処理量(kg)	<1	<1	<1							2	26	720	49	<1		795			480		
7月	本数	0	0	0	0	0	48	12	0	0	60	28	0	7	1	0	36	9	11	16	0	
	重量(t)						9.6	2.4			12.0	1.9		1.4	0.2		3.4			2.4		
	PCB処理量(kg)						7	2			9	13		10	<1		23			480		
R4年度	本数	24	132	95	0	0	81	39	0	27	0	398	166	64	140	16	0	386	91	117	32	0
	重量(t)	2.4	7.5	5.2			16.2	7.8		0.9		40.1	11.1	9.6	28.0	2.4		51.1			4.8	
	PCB処理量(kg)	<1	1	7			11	8		<1		28	78	1,920	196	<1		2,194			960	

(注)PCB処理量はPCB濃度を以下のとおりとして推計

(無害化認定施設処理)

換排気用活性炭:51mg/kg(H26)、111mg/kg(H27)、保護具・シート類:182mg/kg、タール・木酢:713mg/kg、

廃アルカリ:409mg/kg(H24)、977kg/mg(H25)、457mg/kg(H26)、705mg/kg(H27)

廃油:1,041mg/kg(H25)

(自所、他事業所処理)

廃アルカリ:7,000mg/kg、廃粉末活性炭:20w/w%、タール・木酢:7,000mg/kg、ウエス・キムタオル:16,000mg/kg

(6) 運転廃棄物処理の推移

運転廃棄物は、当事業所の操業開始時から保管者からの処理委託を受けた高濃度PCB廃棄物の処理及び施設の定期点検に伴い発生しています。

平成23年にはドラム缶保管数が3,426本となり、そのような状況の中で、平成23年7月には地元此花区及び行政に外部保管倉庫の借り上げ経緯のご説明を行い、また、大阪市PCB廃棄物処理事業監視会議（平成23年8月：第17回）に報告をさせて頂き、舞洲内で外部倉庫を借用することとなりました。

外部倉庫では、低濃度PCBの活性炭、PPシート・保護具などの乾燥したものを保管し、その後、無害化処理認定施設での処理体制が整備され、エリア間移動処理及び自所処理により順調に処理を進めた結果、ドラム缶保管数が減少し、本年7月末に外部倉庫を解約しました。

(図—2)



3. 各種モニタリング調査結果等

(1) 排出源モニタリング

モニタリング計画等に基づき実施した排水、騒音・振動及び排気の調査結果を報告します。

1) 排水(汚水及び雨水)

令和4年6月及び7月に実施した外部分析機関による排水中のPCB及びダイオキシン類濃度の測定結果は、(表-9)のとおり、汚水の5地点とも自主管理目標値未満でした。

表-9 排水(汚水・雨水)測定結果

棟名	検体	測定点	測定項目	単位	R4.6・7	参考						維持管理値	自主管理目標値	
						R3.6・7	R2.6・7	R1.6・7	H30.6	H29.10再測定*	H29.6			
西棟	敷地境界汚水	①	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	-	検出せず	0.003	0.0005
			ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.093	0.0037	0.0016	0.33	0.0015	-	0.046	10	5	
		②	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	-	検出せず	0.003	0.0005
			ダイオキシン類	pg-TEQ/L	1.0	0.058	0.39	0.037	0.0028	-	0.091	10	5	
		③	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	-	検出せず	0.003	0.0005
			ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.11	0.0022	0.0018	0.049	0.0035	-	0.082	10	5	
	④	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	-	検出せず	0.003	0.0005	
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.059	0.059	0.0036	0.0050	0.0043	-	0.087	10	5		
	敷地境界雨水	①	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	0.003	0.0005
			ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.27	0.20	0.26	0.20	0.46	0.1	0.93	10	5	
		②	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	0.003	0.0005
			ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.18	0.25	1.5	0.34	0.40	0.045	0.51	10	5	
③		PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	0.003	0.0005	
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.97	0.11	0.25	0.30	1.5	0.098	1.7	10	5		
東棟	敷地境界汚水	①	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	-	検出せず	0.003	0.0005
			ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.070	0.0031	0.066	0.055	0.010	-	0.10	10	5	
	①	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	0.003	0.0005	
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.30	0.073	0.33	0.54	0.24	0.37	1.5	10	5		
	②	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	0.003	0.0005	
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.13	0.059	0.24	0.18	0.24	0.85	2.2	10	5		
	③	PCB	mg/L	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	検出せず	0.003	0.0005	
		ダイオキシン類	pg-TEQ/L	0.17	0.21	0.21	0.29	0.22	0.15	3.3	10	5		

*雨水樹の清掃実施後、降雨した日の翌日に再測定を実施

注) 排水中のPCBの定量下限値は、0.0005mg/L

2) 騒音・振動

令和4年6月に実施した外部分析機関による騒音及び振動レベルは、敷地境界4地点（東、西、南、北）でいずれの時間帯も（表-10）のとおり維持管理値未満でした。

表-10 騒音・振動測定結果

棟名	測定項目（単位）		測定箇所 ／区分	R4.6	参考			維持管理値	
					R3.6	R2.6	R1.6		
東西棟	騒音	騒音レベル (dB)	東	朝	48	48	49	48	60
				昼間	51	53	53	53	65
				夕	49	50	49	49	60
				夜間	49	49	47	46	55
			西	朝	54	56	55	55	60
				昼間	59	60	62	58	65
				夕	59	58	60	58	60
				夜間	54	55	55	54	55
			南	朝	54	55	52	53	60
				昼間	57	58	56	56	65
				夕	55	55	52	55	60
				夜間	54	54	51	51	55
			北	朝	53	53	54	54	60
				昼間	58	59	56	56	65
				夕	56	55	54	54	60
				夜間	53	53	55	54	55
	振動	振動レベル (dB)	東	昼間	32	31	32	31	65
				夜間	29	29	30	27	60
			西	昼間	27	27	31	30	65
				夜間	<25	<25	<25	<25	60
南			昼間	33	32	32	32	65	
			夜間	26	26	<25	26	60	
北			昼間	33	32	34	34	65	
			夜間	26	25	28	27	60	